

平成 2 3 年 1 2 月期
(第 1 5 0 期)

第 2 四半期決算説明資料

佐渡汽船株式会社

◆ 営業の概況

当社の平成23年12月期（第150期）の第2四半期決算が終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による部品供給網の寸断の影響で企業の生産活動が停滞したことに加え、福島県内で発生した原子力発電所の放射能漏れ事故や節電対策等により企業活動及び国民生活は大きな影響を受けました。

当社グループにおきましては、前第1四半期連結会計期間の天候不順による業績の悪化の反動もあり、各セグメントとも3月上旬までは前年同期を上回る状況で推移しました。しかしながら、東日本大震災以降は観光客の予約キャンセルが相次いで発生し、その後も自粛ムードの影響でゴールデンウィークの実績も振るいませんでした。さらに、東日本大震災以降、団体観光客数が大きく落ち込んだまま低調に推移したことにより、非常に厳しい状況となりました。こうした状況に対応するため、当社グループでは予算の見直しを行って費用の削減に努める一方で、地元の新潟県内での営業を強化して個人観光客の増送を図りました。また、東日本大震災及びその後の原子力発電所放射能漏れ事故の影響により、小学校の修学旅行の行先が被災地域等から佐渡へと振替えられ、その数は約4,000名に達しましたが、東日本大震災の影響を取り戻すまでには至らず、佐渡への観光客数は前年同期を大きく下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,774,350千円（前年同期比9.0%減）、営業損失は419,408千円（前年同期は82,467千円の営業損失）、経常損失は462,873千円（前年同期は143,693千円の経常損失）、四半期純損失は491,072千円（前年同期比100,000千円の四半期純損失）となりました。

（単位：千円・％）

主要科目	平成23年12月期 第2四半期 連結累計期間 <small>（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）</small>	平成22年12月期 第2四半期 連結累計期間 <small>（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）</small>	前年同期差	前年同期比
売上高	4,774,350	5,243,886	△469,536	△9.0
売上原価	4,675,473	4,788,785	△113,312	△2.4
売上総利益	98,877	455,101	△356,224	△97.9
販売費及び一般管理費	518,285	537,568	△19,283	△3.6
営業損失	419,408	82,467	336,941	—
営業外収益	85,320	82,618	2,702	3.3
営業外費用	128,785	143,844	△15,059	△10.5
経常損失	462,873	143,693	319,180	—
特別利益	70,955	75,235	△4,280	△5.7
特別損失	45,531	16,340	29,191	178.6
四半期純損失	491,072	100,000	391,072	—

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり季節的変動が顕著であります。

《 部門別業績の概況 》

① 海運

当第2四半期連結累計期間の旅客輸送人員は620,951人（前年同期比12.5%減）、自動車航送台数は乗用車換算で99,704台（前年同期比3.1%増）、貨物輸送トン数は69,138トン（前年同期比12.8%増）となりました。

輸送実績は、佐渡島内において行われている総合病院新築工事に伴う資材輸送等により自動車航送及び貨物輸送は前年同期を上回ったものの、旅客輸送においては東日本大震災以降、東北地方、首都圏からの団体観光客及びインバウンド団体が大きく落ち込み、回復の兆候が見られないまま推移したことにより売上高は前年同期を下回りました。また、原油価格の上昇により船舶燃料費も上昇傾向にあるため、営業利益も前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は3,120,041千円、営業損失は394,773千円となりました。

（単位：千円・%）

主要科目	平成22年12月期 第2四半期 連結累計期間 <small>（自 平成23年1月1日 至 平成22年6月30日）</small>	平成22年12月期 第2四半期 連結累計期間 <small>（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）</small>	前年同期差	前年同期比
売上高	3,120,041	3,386,350	△266,309	△7.9
営業損失	394,773	16,176	378,597	—

② 一般貨物自動車運送

貨物輸送が堅調に推移したこと、佐渡島内での総合病院新築工事等によりクレーン稼働が好調であったことに加えて、車検台数の増加で車両整備収入も増加したことにより、全体で売上高は増加しました。

以上の結果、売上高は866,650千円、営業利益は18,207千円となりました。

（単位：千円・%）

主要科目	平成23年12月期 第2四半期 連結累計期間 <small>（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）</small>	平成22年12月期 第2四半期 連結累計期間 <small>（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）</small>	前年同期差	前年同期比
売上高	866,650	864,699	1,951	0.2
営業利益	18,207	7,249	10,958	151.2

③ 売店・飲食

東日本大震災の影響で観光客が減少したことにより売店部門、食堂部門ともに売上高は減少しました。また食堂部門においては震災後の自粛ムードの影響もあり宴会等の利用も減少しました。

以上の結果、売上高は 464,703 千円、営業損失は 40,271 千円となりました。

(単位:千円・%)

主要科目	平成23年12月期 第2四半期 連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	平成22年12月期 第2四半期 連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	前年同期差	前年同期比
売上高	464,703	558,075	△93,372	△16.7
営業損失	40,271	43,586	△3,315	—

④ 観光

観光施設部門及び宿泊サービス部門においては団体客を中心とした観光客の大幅な減少により売上高が減少しました。一方、旅行業部門では震災後、地元の新潟県内の営業を強化したこと、インターネットを通じた旅行商品の販売を強化したことにより売上高は増加しました。

以上の結果、売上高は 263,141 千円、営業損失は 27,341 千円となりました。

(単位:千円・%)

主要科目	平成23年12月期 第2四半期 連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	平成22年12月期 第2四半期 連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	前年同期差	前年同期比
売上高	263,141	334,727	△71,586	△21.4
営業損失	27,341	78,028	△50,687	—

⑤ その他

前連結会計年度の第3四半期にて佐渡汽船コンピューターサービス(株)が合併により消滅会社となったこと、また前連結会計年度の第4四半期にて佐渡汽船モーターズ(株)が清算となったことから、その他の売上高は減少しました。

以上の結果、売上高は 59,815 千円、営業損失は 1,243 千円となりました。

(単位:千円・%)

主要科目	平成23年12月期 第2四半期 連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	平成22年12月期 第2四半期 連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	前年同期差	前年同期比
売上高	59,815	100,035	△40,220	△40.2
営業利益	—	3,766	△3,766	—
営業損失	1,243	—	1,243	—

《 資産、負債および純資産の状況 》

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ48,150千円減少し11,488,862千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ85,340千円増加し3,297,904千円となりました。これは運転資金の借入れにより現金及び預金が198,571千円増加したこと及びその他流動資産が112,092千円減少したことが主な要因であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ133,490千円減少し8,190,958千円となりました。これは償却の進行により有形固定資産が204,518千円減少したこと及び当社において無形固定資産のその他に含まれているソフトウェア仮勘定を82,874千円計上したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ427,191千円増加し9,922,321千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ412,193千円増加し3,911,580千円となりました。これは短期借入金が162,250千円増加したこと、その他に含まれている未払費用が123,125千円、その他流動負債が121,654千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ14,998千円増加し6,010,741千円となりました。これは特別修繕引当金の減少が24,022千円あったこと及び資産除去債務に関する会計基準の適用により資産除去債務を35,184千円計上したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ475,341千円減少し1,566,541千円となりました。これは四半期純損失を491,072千円計上したことが主な要因であります。

(単位:千円・%)

主要科目	平成23年12月期 第2四半期 連結会計期間末 (平成23年6月30日)	平成22年12月期 連結会計年度末 (平成22年12月31日)	前年同期差	前年同期比
流動資産	3,297,904	3,212,564	85,340	2.7
固定資産	8,190,958	8,324,448	△133,490	△1.6
資産合計	11,488,862	11,537,012	△48,150	△0.4
流動負債	3,911,580	3,499,387	412,193	11.8
固定負債	6,010,741	5,995,743	14,998	0.3
負債合計	9,922,321	9,495,130	427,191	4.5
株主資本	1,241,338	1,735,205	△493,867	△28.5
評価・換算差額等	7,868	11,724	△3,856	△32.9
新株予約権	19,427	11,737	7,690	65.5
少数株主持分	297,908	283,215	14,693	5.2
純資産合計	1,566,541	2,041,882	△475,341	△23.3
負債純資産合計	11,488,862	11,537,012	△48,150	△0.4

《 キャッシュ・フローの状況 》

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の増加が357,848千円、投資活動による資金の減少が351,199千円、財務活動による資金の増加が125,025千円となり、前連結会計年度末に比べ131,674千円増加し、当第2四半期連結累計期間末残高は1,260,908千円（前年同期比2.2%減）となりました。各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は357,848千円（前年同期は651,435千円の増加）となりました。これは税金等調整前四半期純損失が437,450千円、減価償却費が411,328千円、貸倒引当金の減少が359,419千円、売上債権の減少が487,274千円、未収消費税等の減少が85,633千円、未払費用等のその他の増加が148,851千円あったことが主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は351,199千円（前年同期は358,911千円の減少）となりました。これは固定資産取得にかかる補助金収入が84,992千円ありましたが、有形及び無形固定資産の取得による支出が392,585千円あったことが主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は125,025千円（前年同期は386,826千円の減少）となりました。これは短期借入金の返済による支出が292,750千円あったものの、短期借入れによる収入が455,000千円あったことが主な要因であります。

（単位：千円・%）

主要科目	平成23年12月期 第2四半期 連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	平成22年12月期 第2四半期 連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	前年同期差	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	357,848	651,435	△293,587	△45.1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△351,199	△358,911	7,712	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	125,025	△386,826	511,851	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131,674	△94,302	225,976	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,129,234	1,383,328	△254,094	△18.4
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,260,908	1,289,026	△28,118	△2.2

営業概況（連結）

◆ 3カ年の推移

単位：千円（△は損失）

主要科目	平成21年12月期 第2四半期 連結累計期間	平成22年12月期 第2四半期 連結累計期間	平成23年12月期 第2四半期 連結累計期間	平成21年12月期 通期	平成22年12月期 通期
	(自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	(自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	(自平成21年1月1日 至平成21年12月31日)	(自平成22年1月1日 至平成22年12月31日)
売上高	5,372,701	5,243,886	4,774,350	12,524,898	12,022,336
売上原価	4,859,562	4,788,785	4,675,473	10,317,870	10,287,896
売上総利益	513,139	455,101	98,877	2,207,028	1,734,440
販売費及び 一般管理費	550,682	537,568	518,285	1,056,672	1,036,245
営業利益	△37,543	△82,467	△419,408	1,150,356	698,195
営業外収益	71,039	82,618	85,320	150,730	172,878
営業外費用	161,983	143,844	128,785	292,824	285,191
経常利益	△128,487	△143,693	△462,873	1,008,262	585,882
特別利益	946,742	75,235	70,955	1,121,358	134,057
特別損失	1,104,758	16,340	45,531	2,207,263	85,891
税金等調整前 四半期純利益	△286,503	△84,798	△437,450	—	—
税金等調整前 当期純利益	—	—	—	△77,643	634,048
四半期純利益	△312,325	△100,000	△491,072	—	—
当期純利益	—	—	—	156,308	446,018
主要科目	平成21年12月期 第2四半期 連結会計期間末	平成22年12月期 第2四半期 連結会計期間末	平成23年12月期 第2四半期 連結会計期間	平成21年12月期 連結会計年度末	平成22年12月期 連結会計年度末
	(平成21年6月30日)	(平成22年6月30日)	(平成22年6月30日)	(平成21年12月31日)	(平成22年12月31日)
流動資産	3,337,992	3,488,623	3,297,904	3,650,442	3,212,564
固定資産	9,208,524	8,735,176	8,190,958	8,879,742	8,324,448
資産合計	12,546,516	12,223,799	11,488,862	12,530,184	11,537,012
流動負債	4,436,334	4,222,922	3,911,580	3,567,456	3,499,387
固定負債	7,055,333	6,501,010	6,010,741	7,374,351	5,995,743
負債合計	11,491,667	10,723,932	9,922,321	10,941,807	9,495,130
資本金	801,103	801,103	801,103	801,103	801,103
純資産合計	1,054,849	1,499,867	1,566,541	1,588,377	2,041,882
従業員数（人）	861人	861人	861人	869人	845

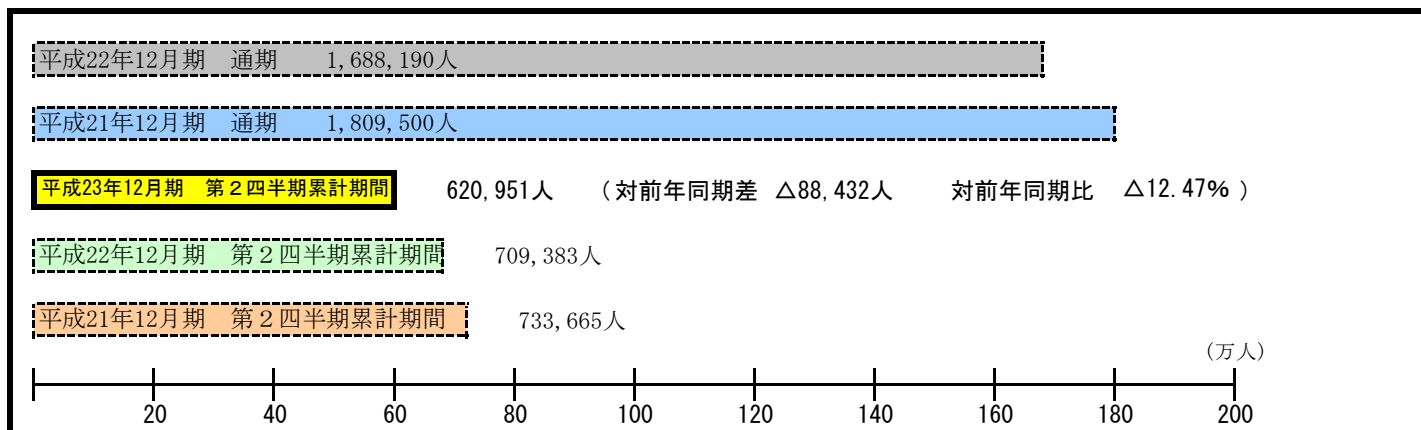
営業概況（単体）

◆ 3カ年の推移

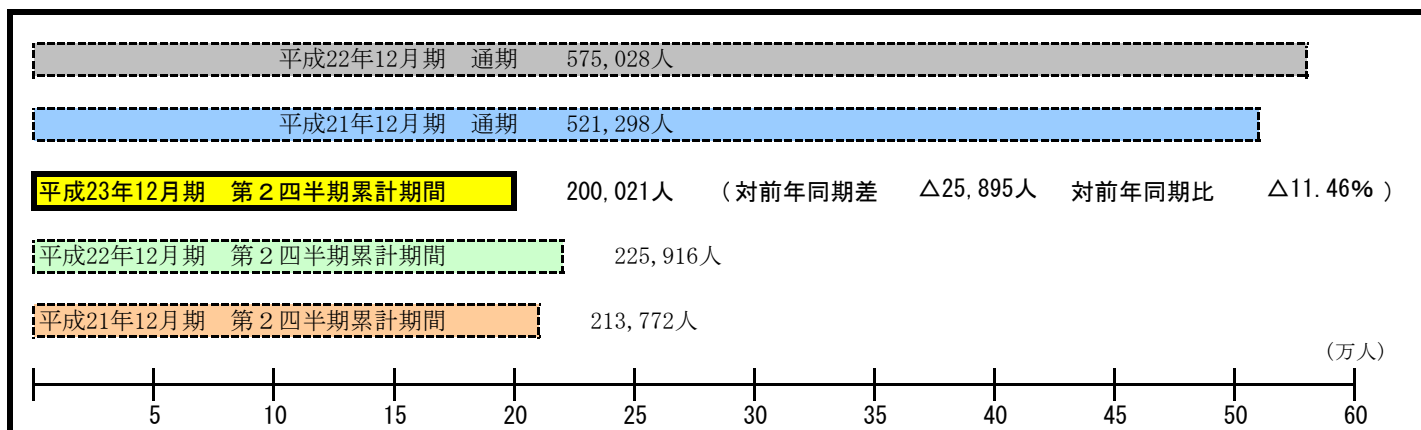
単位：千円（△は損失）

主要科目	平成21年12月期 第2四半期 累計期間	平成22年12月期 第2四半期 累計期間	平成23年12月期 第2四半期 累計期間	平成21年12月期 通期	平成22年12月期 通期
	(自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	(自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	(自平成21年1月1日 至平成21年12月31日)	(自平成22年1月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,515,665	3,357,876	3,180,448	7,961,249	7,620,310
営業利益	△14,725	△33,865	△434,135	1,056,490	556,764
営業外収益	78,980	88,672	97,900	171,778	172,353
営業外費用	130,174	129,047	116,064	256,429	246,239
経常利益	△65,919	△74,240	△452,299	971,839	482,878
特別利益	932,807	69,588	38,688	1,102,453	69,587
特別損失	1,016,300	11,695	33,054	2,052,431	80,495
税金等調整前 四半期純利益	△149,412	△16,348	△446,665	—	—
税金等調整前 当期純利益	—	—	—	21,861	471,970
四半期純利益	△153,643	△17,698	△448,014	—	—
当期純利益	—	—	—	301,524	340,299
	平成21年6月30日	平成22年6月30日	平成23年6月30日	平成21年12月31日	平成22年12月31日
従業員数（人）	186人	92人	89人	86人	92人

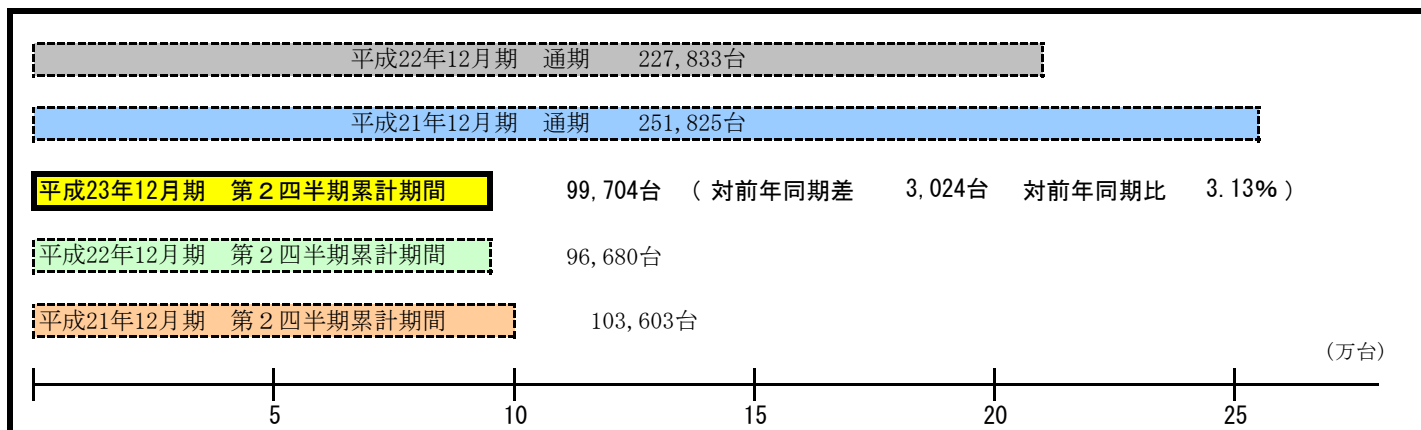
◆ 輸送人員(カーフェリー、ジェットfoil、高速船)合計



◆ 輸送人員(ジェットfoil)



◆ 航送換算台数



◆ 貨物輸送トン数

